



2026年6月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2026年5月15日

上場会社名 あいホールディングス株式会社
コード番号 3076 URL <https://www.aiholdings.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 佐々木 秀吉

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 山本 裕之

TEL 03-3249-6335

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年6月期第3四半期の連結業績(2025年7月1日～2026年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年6月期第3四半期	64,733	28.0	8,719	17.9	9,914	35.0	9,643	42.7
2025年6月期第3四半期	50,557	34.0	7,392	5.0	7,345	57.2	16,822	17.4

(注) 包括利益 2026年6月期第3四半期 10,882百万円 (32.7%) 2025年6月期第3四半期 16,169百万円 (5.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年6月期第3四半期	181.01	
2025年6月期第3四半期	323.91	

(注) 前連結会計年度末において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、
前第3四半期連結累計期間に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年6月期第3四半期	144,057	114,362	79.2	2,146.71
2025年6月期	140,906	112,065	77.7	2,103.58

(参考) 自己資本 2026年6月期第3四半期 114,092百万円 2025年6月期 109,543百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年6月期		45.00		55.00	100.00
2026年6月期		55.00			
2026年6月期(予想)				70.00	125.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2026年6月期の連結業績予想(2025年7月1日～2026年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	90,000	36.0	10,700	20.4	11,400	26.6	10,300	51.6	193.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年6月期3Q	56,590,410 株	2025年6月期	56,590,410 株
期末自己株式数	2026年6月期3Q	3,317,228 株	2025年6月期	3,316,677 株
期中平均株式数 (四半期累計)	2026年6月期3Q	53,273,535 株	2025年6月期3Q	51,935,989 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び、業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(連結子会社の事業年度に関する事項の変更)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(企業結合等関係)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

前連結会計年度末において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前第3四半期連結会計期間との比較・分析にあたっては、暫定的な会計処理の確定の内容の反映後の金額を用いております。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、物価上昇の影響を受けつつも、雇用・所得環境の改善等を背景に底堅く推移しております。一方で、不安定な国際情勢の影響や物価上昇による個人消費の下振れリスクなどもあり、景気の動向は依然として不透明な状況にあります。このような経済環境のもと、当社グループにおいては、環境変化に機動的に即応し、効率性や採算性を考慮した社内体制の強化・整備を図り、資本コストを意識した利益重視の経営を推進いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は647億3千3百万円（前年同期比28.0%増）となり、営業利益は87億1千9百万円（前年同期比17.9%増）、経常利益は99億1千4百万円（前年同期比35.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は96億4千3百万円（前年同期比42.7%減）となりました。

各セグメントの業績は次のとおりであります。

① セキュリティ機器

セキュリティ機器につきましては、マンション向けでは分譲の新規が好調に推移し、一般法人向けにおいては、官公庁向けのAI画像解析技術を活用した次世代セキュリティシステムを受注したことにより、売上高は122億6千1百万円（前年同期比3.5%増）、セグメント利益は49億2千6百万円（前年同期比1.2%増）となりました。

② カード機器及びその他事務用機器

カード機器及びその他事務用機器につきましては、カード機器では、主力の病院向けは回復傾向にあり、金融機関向けでは、即時キャッシュカード発行機の案件を獲得しました。その他事務用機器の鉄骨CADは、主力製品の切り替え期にあたり、当第3四半期より新製品の販売を開始し、売上高は17億9千4百万円（前年同期比26.6%減）、セグメント利益は1億8千4百万円（前年同期比73.9%減）となりました。

③ 情報機器

情報機器につきましては、業務用カッティングマシンは安定的に推移し、個人向けカッティングマシンでは、主力となる低価格の新製品を投入した結果、売上高は92億8千8百万円（前年同期比8.8%減）、セグメント利益は2億8千1百万円（前年同期比4.9%増）となりました。

④ 計測機器

計測機器につきましては、前年並みに安定的に推移し、売上高は39億5千4百万円（前年同期比1.1%増）、セグメント利益は6億2千8百万円（前年同期比3.0%減）となりました。

⑤ 情報通信

情報通信につきましては、当期より連結子会社となりましたナカヨの通信機器事業が新たに増加したことにより、売上高は211億6千2百万円（前年同期比137.1%増）、セグメント利益は9億7千3百万円（前年同期比85.2%増）となりました。

⑥ 設計事業

設計事業につきましては、構造設計を安定的に受注し、大口の耐震診断を受注した結果、売上高は61億9千6百万円（前年同期比45.7%増）、セグメント利益は15億7千5百万円（前年同期比246.5%増）となりました。

⑦ その他

その他につきましては、売上高は100億7千3百万円（前年同期比11.9%増）、セグメント利益は3億5百万円（前年同期比105.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて31億5千1百万円増加し、1,440億5千7百万円となりました。主な要因は流動資産における現金及び預金37億3千2百万円増加、受取手形、売掛金及び契約資産31億6千万円増加、原材料及び貯蔵品10億3千1百万円減少、固定資産における土地22億2千1百万円減少等であります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べて8億5千5百万円増加し296億9千5百万円となりました。主な要因は、流動負債における支払手形及び買掛金3億3千3百万円減少、未払法人税等11億5千2百万円増加等であります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて22億9千6百万円増加し1,143億6千2百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益96億4千3百万円の計上、配当金58億6千万円の計上、非支配株主持分22億5千2百万円減少等であります。この結果、自己資本比率は79.2%となり、前連結会計年度末の77.7%より増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績につきましては、2025年8月19日付の『2025年6月期決算短信〔日本基準〕（連結）』にて公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には、速やかに開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	45,055	48,787
受取手形、売掛金及び契約資産	17,822	20,982
リース投資資産	441	293
商品及び製品	9,729	10,685
仕掛品	1,695	1,823
未成工事支出金	53	40
原材料及び貯蔵品	5,786	4,755
その他	2,705	2,865
貸倒引当金	△23	△102
流動資産合計	83,265	90,132
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,808	4,329
土地	23,958	21,737
その他(純額)	4,485	3,908
有形固定資産合計	33,252	29,975
無形固定資産		
のれん	1,584	1,578
ソフトウェア	1,027	1,714
その他	732	663
無形固定資産合計	3,344	3,956
投資その他の資産		
投資有価証券	5,138	5,790
関係会社株式	7,514	7,178
退職給付に係る資産	2,682	2,714
その他	5,831	4,429
貸倒引当金	△122	△121
投資その他の資産合計	21,043	19,992
固定資産合計	57,640	53,924
資産合計	140,906	144,057

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,851	6,518
リース債務	359	251
未払法人税等	1,574	2,727
賞与引当金	690	1,495
製品保証引当金	182	135
受注損失引当金	37	20
有償支給取引に係る負債	157	158
その他	6,713	7,667
流動負債合計	16,565	18,975
固定負債		
リース債務	705	627
退職給付に係る負債	4,259	4,288
その他	7,309	5,804
固定負債合計	12,274	10,720
負債合計	28,840	29,695
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	19,648	19,772
利益剰余金	82,806	86,012
自己株式	△1,676	△1,678
株主資本合計	105,778	109,107
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	543	1,012
為替換算調整勘定	3,188	3,996
退職給付に係る調整累計額	33	△23
その他の包括利益累計額合計	3,765	4,984
非支配株主持分	2,522	270
純資産合計	112,065	114,362
負債純資産合計	140,906	144,057

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2026年3月31日)
売上高	50,557	64,733
売上原価	26,991	38,794
売上総利益	23,565	25,938
販売費及び一般管理費		
役員報酬	508	472
給料及び手当	4,675	5,415
賞与	707	945
賞与引当金繰入額	599	691
退職給付費用	273	301
その他	9,408	9,391
販売費及び一般管理費合計	16,172	17,218
営業利益	7,392	8,719
営業外収益		
受取利息	109	136
受取配当金	35	48
持分法による投資利益	153	483
為替差益	—	453
その他	86	121
営業外収益合計	385	1,243
営業外費用		
支払利息	43	4
為替差損	316	—
支払手数料	11	14
その他	60	31
営業外費用合計	432	49
経常利益	7,345	9,914
特別利益		
投資有価証券売却益	110	19
固定資産売却益	533	3,835
関係会社株式売却益	240	0
負ののれん発生益	14,296	—
その他	—	11
特別利益合計	15,180	3,867
特別損失		
固定資産除却損	0	2
固定資産売却損	429	—
投資有価証券売却損	148	—
棚卸資産除却損	1	66
事業構造改善費用	—	30
段階取得に係る差損	5,164	—
災害による損失	—	8
その他	32	18
特別損失合計	5,777	125
税金等調整前四半期純利益	16,748	13,656
法人税、住民税及び事業税	3,657	3,959
法人税等調整額	△3,753	34
法人税等合計	△96	3,994
四半期純利益	16,844	9,662
非支配株主に帰属する四半期純利益	22	19
親会社株主に帰属する四半期純利益	16,822	9,643

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2026年3月31日)
四半期純利益	16,844	9,662
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	280	429
為替換算調整勘定	△863	875
退職給付に係る調整額	△113	△57
持分法適用会社に対する持分相当額	20	△27
その他の包括利益合計	△675	1,219
四半期包括利益	16,169	10,882
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	16,147	10,862
非支配株主に係る四半期包括利益	22	19

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

第2四半期連結会計期間において、会社設立によりグラフテック岩通計測株式会社を連結の範囲に含めております。

(連結子会社の事業年度に関する事項の変更)

第1四半期連結会計期間において、決算日が3月31日であった、株式会社ナカヨ及び同社子会社は同日現在の財務諸表を利用し、連結決算日との間に生じた重要な取引については必要な調整を行っていましたが、第1四半期連結会計期間より決算日を6月30日に変更しております。

なお、この決算期変更により、2025年4月1日から2025年6月30日までの損益については、利益剰余金の増減として調整しております。

また、当第3四半期連結累計期間に含まれる2025年7月1日から2026年3月31日までの売上高は13,229百万円、営業利益は435百万円、経常利益は480百万円、税金等調整前四半期純利益は498百万円となります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2026年3月31日)
減価償却費	1,664百万円	1,954百万円
のれんの償却額	141百万円	88百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	セキュリ ティ機器	カード機 器及びそ の他事務 用機器	情報機器	計測機器	情報通信	設計事業	計			
売上高										
外部顧客へ の売上高	11,845	2,443	10,179	3,910	8,923	4,253	41,557	8,999	—	50,557
セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	48	4	5	—	—	1	61	186	△248	—
計	11,894	2,448	10,185	3,910	8,923	4,254	41,618	9,186	△248	50,557
セグメント利 益	4,867	709	268	647	525	454	7,473	149	△229	7,392

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、節電・省エネシステムの開発・製造・販売、カードリーダー・自動おしぼり製造機の製造・販売、ソフトウェアの開発・販売、セキュリティ機器・カード機器等の保守サービス、リース及び割賦事業、コールセンター事業、印刷システム事業、不動産事業等を行っております。
2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去△242百万円、各報告セグメントに配分していない全社収益595百万円並びに全社費用△582百万円が含まれております。全社収益は、主に各グループ会社からの経営指導料であり、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

前第3四半期連結累計期間において、岩崎通信機を株式交換により連結の範囲に含めたことにより、負ののれん発生益を14,296百万円計上しております。

なお、当該事象による負ののれん発生益は特別利益であるため、セグメント利益には含めておりません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2025年7月1日 至 2026年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	セキュリ ティ機器	カード機 器及びそ の他事務 用機器	情報機器	計測機器	情報通信	設計事業	計			
売上高										
外部顧客へ の売上高	12,261	1,794	9,288	3,954	21,162	6,196	54,659	10,073	—	64,733
セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	133	6	8	—	—	1	149	437	△587	—
計	12,395	1,800	9,297	3,954	21,162	6,197	54,809	10,511	△587	64,733
セグメント利 益	4,926	184	281	628	973	1,575	8,569	305	△156	8,719

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、節電・省エネシステムの開発・製造・販売、カードリーダー・自動おしぼり製造機の製造・販売、ソフトウェアの開発・販売、セキュリティ機器・カード機器等の保守サービス、リース及び割賦事業、コールセンター事業、印刷システム事業、不動産事業等を行っております。
2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去△692百万円、各報告セグメントに配分していない全社収益1,208百万円並びに全社費用△672百万円が含まれております。全社収益は、主に各グループ会社からの経営指導料であり、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

(比較情報における取得原価の当初配分額の重要な見直し)

2024年9月1日に行われた岩崎通信機株式会社との企業結合について、前第3四半期連結累計期間において暫定的な会計処理を行っていましたが、前連結会計年度末に確定しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、当第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の当初配分額に重要な見直しが反映されており、暫定的に算定された負のれん発生益の金額14,733百万円は、会計処理の確定により437百万円減少し、14,296百万円となっております。

この結果、前第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書は、税金等調整前四半期純利益、四半期純利益、親会社株主に帰属する四半期純利益が、それぞれ437百万円減少しております。

また、2025年4月9日に行われた株式会社ナカヨとの企業結合について、当第3四半期連結会計期間末においても取得原価の配分が完了していないため暫定的な会計処理を行っております。